

府中市福祉計画の考え方（案）

1 計画策定の趣旨

第6次府中市総合計画を上位計画とし、健康・福祉分野の基本目標である「人と人との支え合い幸せを感じるまち」の実現に向けて、「地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画」、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」、「障害者計画・障害福祉計画（第4期）」を新たに策定し、関係する既存計画とも整合性を図りながら、福祉の総合的な計画とするものです。

2 計画改定のポイント

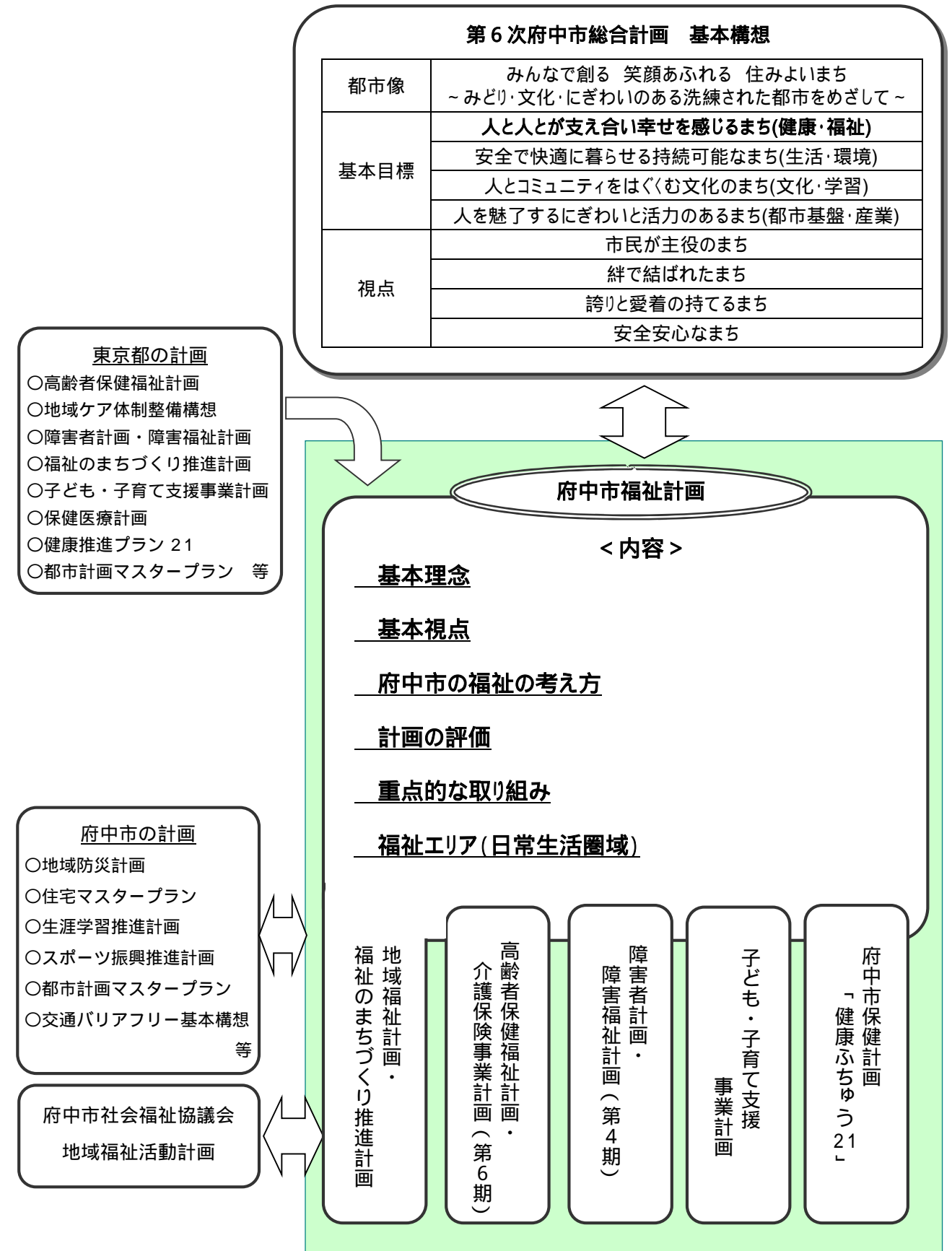
- 府中市第6次総合計画の部門別計画として策定
- 府中市の2025年の地域包括ケアシステムを考える計画
- 共生社会に向けたコミュニティづくりのための計画

3 計画の位置づけと構成

- 「府中市福祉計画」は、「第6次府中市総合計画」を上位計画とする計画です。
- 「府中市福祉計画」は、地域福祉分野の「地域福祉計画」・「福祉のまちづくり推進計画」、高齢者分野の「高齢者保健福祉計画」・「介護保険事業計画」、障害者分野の「障害者計画」・「障害福祉計画」、子ども・子育て支援分野の「子ども・子育て支援事業計画」、健康分野の「保健計画」を含む計画です。
- 「府中市福祉計画」は、府中市の福祉分野の総合計画として、他の健康・福祉分野の計画と整合した計画であり、また、文化・学習関連計画、都市基盤・産業分野の計画とも連携した計画です。
- 「府中市福祉計画」は、国や東京都の関連する計画と整合を図っています。
- なお、「地域福祉計画」については、府中市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」との連携を図っています。

4 計画の期間

平成27年度～平成32年度（6年間）



5 基本理念と基本視点

みんなでつくる、みんなの福祉
～人と人が支え合い幸せを感じるまちをめざして～

1 安心・安全な暮らしを支える福祉の実現

住み慣れた地域で、安心して安定して暮らし続けることができることを視点とした仕組みや環境づくりを進めます。

また一人ひとりの尊厳が尊重され、安心してその人らしい暮らしが実現するとともに、だれもが障害や障壁を感じることなく暮らすことができる視点からの施策を推進します。

2 いきいきと自立した暮らしを支える福祉の実現

あらゆる世代の市民が心身ともに健やかに暮らせる福祉を実現します。

また、元気な高齢者を増やすため、生涯現役社会の形成を視点とした施策を一層進めます。

その人らしい暮らしが実現され、生活の質を高める福祉をめざします。

3 地域で支え合う福祉の実現

身近な地域コミュニティにおいて、人と人とのきずなを大切にしながら、市民自らが参加し、自発的に支えあい、さまざまな主体と協働して進める幅広い福祉の実現をめざします。

4 連携・協働で進める福祉の実現

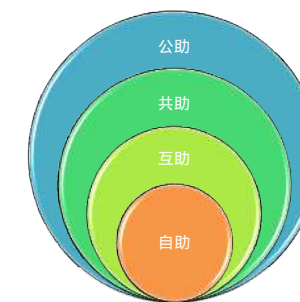
市民や自治会・町会、ボランティア団体、福祉関係機関、民間事業者、NPO、行政が協働して地域で支える共同連帯の理念に基づく社会の実現をめざします。

また、医療・保健・福祉の多職種が連携した総合的・包括的な福祉の実現をめざします。

6 府中市の福祉の考え方

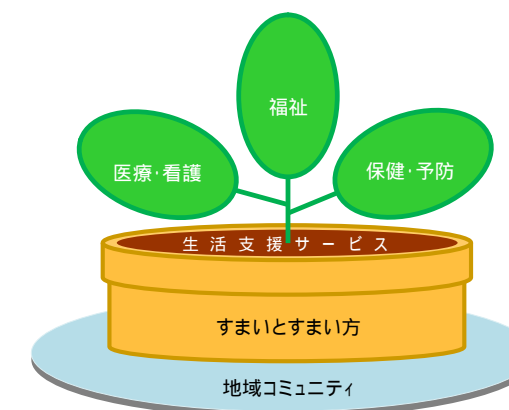
(1) 「自助」「互助」「共助」「公助」

「個人の尊厳を尊重しながら、自助・互助の精神に配慮しつつ、それではカバーできないことは公的サービスによる対策を講じる」ことを福祉サービスの基本精神として福祉施策に取り組みます。



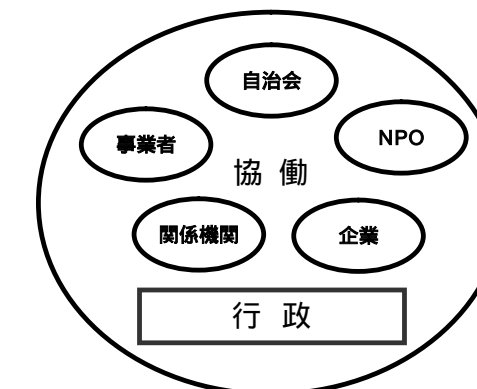
(2) 地域包括ケアシステムの推進

府中市の地域包括ケアシステムの考えは、「地域(コミュニティ)でのケア」を推進することと、「包括的・統合的なケア」を推進していくことの両輪から進めていくことを基本的な考え方とします。



(3) 市民・関係機関・事業者との協働

福祉の推進にあたっては、市民、自治会などの地域コミュニティ、企業、NPO、事業者、関係機関、市などの地域の構成主体が、福祉のまちづくりの方向性を共有し、それぞれの持てる力を発揮し、お互いに連携、協働することが必要です。



(4) セーフティネットの構築

府中市は、生活上の困難を抱え、支援を必要とする様々な市民の拠り所となる、セーフティネットを構築します。

7 福祉計画の体系

- ・第6次総合計画の目標に基づき、施策目標を設定します。
- ・現計画の課題や制度改正等の動向をふまえて方針を設定します。

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画の体系案

